

第143回運営委員会概要 9月17日(水) 18:30~21:00

- ◆会場：柏崎原子力広報センター 1F 実験室
- ◆出席委員：新野会長・佐藤副会長・高橋副会長
石坂・竹内・武本(和)(運営委員)
川口・前田(検討会委員)
吉野(委員)・・・9名
(欠席：三宮・高桑・徳永・中原) (敬称略、五十音順)
- ◆オブザーバー：規制庁／内藤所長、山崎原子力防災専門官
エネ庁／橋場所長
柏崎市／若月主任
刈羽村／山崎主任
東京電力／長野副所長、西田リスクコミュニケーター、杉山課長、
中林副長、徳増主任
- ◆事務局：広報センター／須田業務執行理事、石黒主事

定例会の終了時刻について

〈委員〉会の運営に関わることだが、定例会の終了時刻の件で、会場を午後9時に施錠するというので、定例会の終了時刻を早める試みしながら、前回、前々回定例会を行った。

しかし実際には、前回定例会からの動きの内容だけでも多く、思うように議論がスムーズにいかない場面もあった。会の性質上、時間がかかるのは仕方ない。午後9時に施錠というのは難しい。

午後9時終了を目途として午後9時半には終わるということにしてはどうか。午後9時施錠をするのであれば、他の会場で行うことも考えてよいのではないか。

〈事務局〉午後9時に施錠するというのは、事務局から発したのではなく、委員から「会議の時間を早めてもらいたい。午後9時には会議を終えてもらいたい」という意見があったことを契機として運営委員会で協議し、事務局の負担などを行政とも相談して、皆さんにお知らせしてその試みを始めた。

運営委員会や定例会などで委員の皆さんから相談いただくのもいいと思うが、試みを始めてひと月も経たないうちに、また変えるというのもどうかと考える。

〈委員〉地域の会の会議はかつて午後10時半まで議論をしてきたこともあった。そういう経緯も踏まえてなんとか成り立ってきたという部分もある。それを急に、午後9時に施錠というのはやはり無理があるのではないか。

〈事務局〉広報センターは基本的には午後4時半に閉館。いろいろな業務がある中で地域の会だけが特別に何時までも使えるというわけにもいかないという事情もある。

〈委員〉早く終了するために議論が中途半端になるのは問題があるのではないか。

〈議長〉いろいろな会議に参加しているが、今、県の技術委員会などでも長くて2時間半。2時間を過ぎると次の予定がある方は中座をする場面を見てきている。

コミュニケーションのある議論の場合は、時間だからと切ることとはできないことは皆さんの合意の中にあり、一般的に会議の時間も長くなる傾向にあるがいつまでも会議を続けるわけにもいかない。

委員から午後9時には帰りたいという意見があるのなら協議はあっていいと思う。

〈委員〉午後9時までというような時間で区切る会議でないことは理解している。委員の意見をきちんとすくい取りながら効率よくやれば午後9時という目安は無理ではないと思う。

〈委員〉会議は2時間、長くても2時間半というふうにみんなが考えていると思う。会議に参加している人だけでなく、オブザーバーや会議を聴きにきている人たちのことも考えなくてはいけないのではないか。

せっかく決めて、時間を短縮して効率よく会議を進めるように努力してきているのだから午後9時に終わるように努力すべき。

〈議長〉午後8時45分になったから会議を区切るというのは難しい。午後9時を目標にしながら、多少議論が伸びてしまってもそれを遮るものではないという合意のもとで会議を進行していきたいと思うがどうか。

(委員賛成・了解)

地域の会のあり方及び次期改選に向けた検討会及び年次計画（勉強会、出張定例会等）について

〈検討委員〉9月24日に運営委員と検討委員に集ってもらい方向性を決める話し合いをする予定にしている。

そこである程度の方向性をまとめ、その上で、女川原子力発電所の視察の際にはほぼ全員の委員さんが参加されるので、その時には一般委員からもご理解いただいたり発言いただきたい、会全体の方向を決めていきたい。

(委員了解)

次回以降定例会内容について（10月、11月、12月）

◆ 11月定例会について

〈議長〉 11月の定例会は、以前意見が出ていたように、女川原子力発電所見学の活動報告の発表が中心ということでしょうか。

(委員賛成)

〈議長〉 見学当日は、事務局も忙しいので委員さんの中から写真係をお願いしてはどうか。

(事務局) 例えば10周年の記録誌編集委員のように、写真を撮影したり編集したりしていただく方、事務局も当日は一人なのでいろいろお手伝いしていただければありがたい。

〈議長〉 見学の報告書は一人ひとり提出することになるので、見学の様子がわかるように写真を撮影していただいたり、パワーポイントで報告をつくっていただきたい。

(竹内委員・高橋武委員が協力)

(事務局) 11月定例会は、会場をアルフォーレとしているが開催時間は何時にするか。また昨年、刈羽村ラピカで開催した際は来賓としてゲストをお呼びしたが、今回はどうするか。

〈委員〉 いつもどおりの午後6時半開始でよいのではないか。

〈議長〉 前回からの動きは少しコンパクトにしたいと思う。

(事務局) では、開場は午後6時、定例会開催時間は午後6時半でよいか。

(委員賛成・了解)

〈委員〉 たくさんの方に見ていただきたいということもあるので、ゲストとして来賓をお願いしてはどうか。

〈委員〉 原発から5km、10km圏というエリアもあるが、地域の防災の拠点となるコミセンの、中央コミセン、比角コミセン、枇杷島コミセンの代表の方にお声掛けしてはどうか。終わりに感想などをお聞かせいただければいいのではないか。

(委員賛成)

◆ 10月定例会内容について

(事務局) 女川原子力発電所の見学をされる前に、発電所についてのあらましをお話しさせてもらいたいと東北電力さんから申し出があった。

〈議長〉 地域の会では東京電力さんのことが中心で、この地域では東北

電力さんの電気を使っているながら、実際はあまりよくわからないことも多い。

10月の定例会で20分ほど、東北電力さんから見学前にお話しをいただく時間を取りたいと思うがどうか。

(委員賛成・了解)

〈議長〉会の冒頭で、20分ほど女川原子力発電所についてお話をいただいて、前回からの動き、残りの約1時間にどんなことを議論したいか。

〈委員〉防災の続きでもよい。

〈委員〉川内原発のことが報道でも出てきていることもあるので、経過や国からの報告、どのような段階を経てどんな手順を踏めば再稼働となるのかなど、皆さんがそのことを聞きたいのではないか。

〈委員〉定例会で見せていくには、委員が「今どのようになっているのか」と質問するかたちがよいのではないか。

(委員了解・賛成)

〈委員〉11月に原子力防災訓練があるようだが、そのことについて県から説明を聞くべきではないか。そのあとで市はどうするのか、村はどうするのか。11月の定例会で聞くのは時期的に遅すぎるのではないか。ひと月後の話なのに、まったく内容が聞こえてこない。

(事務局)事務局から県に確認したい。

(委員了解)

視点第68号内容について(第134回定例会分)

- ・視点第68号、第134回定例会分の校正を委員で確認。
- ・内容など細かな改善を行った。

*11月定例会(公開定例会)の案内を追加。

その他

〈議長〉7月の運営委員会の際の意見から、定例会のときに、今こういうことが気になっているとか、こういうことをやってもらいたいとか、テーマに関係なく時間が少しあるときに委員から自由発言してもらってはどうかという意見が出された。

その後、定例会の時間短縮ということもあり、その試みも実現していないが、24日の話し合いのときにそのことも話題にした

いと考えている。

また、委員の要望から始まったことだが、東京電力さんからの前回以降の動きの中で、福島の状態と柏崎刈羽のことと両方報告をいただいている。時間のない中での報告だが、どうしても柏崎刈羽の内容が少なくなっているような感じがしている。どちらも重要なので答えはまだないが、何か工夫があるのかなと思っている。24日にこのことも触れたいと思っている。

【決定事項】

〈10月定例会タイムスケジュール〉

18:30～19:00	女川原子力発電所について（東北電力）
19:00～20:00	前回定例会以降の動き、質疑応答 （東京電力・規制庁・エネ庁・行政）
20:10～20:45	今年度の原子力防災訓練について（県予定）
20:45～21:00	その他

次回以降日程について

第136回定例会	10月1日（水）18:30～21:00
第144回運営委員会	10月（日程未定）
第137回定例会	11月5日（水）18:30～21:00 柏崎市文化会館アルフォーレ（18:00開場）